

# OVVAL NEWS LETTER

※売上げ・収益を伸ばしたいと日夜お考えの経営者の方へ※

“年金基金”は大丈夫？と少しでも疑問をお持ちの総務部長さんへ

**今回のテーマ** 東京都電設工業厚年基金；代行返上後の新年金制度の問題、基金方針は『代行返上』(全事業所で新制度移行)です。新年金制度に移行したくない場合は多額の一時金を払って「任意脱退」しなくてはいけないのでしょうか？

東京都電設工業厚年基金の『代行返上後の新たな年金制度』は、本当によい制度なのでしょうか？しかし一部の事業所は、新制度には移行したくないと考えています。なぜ新制度(確定給付企業年金;DB)に移行しないのでしょうか？

⇒新制度が抱える“不都合な真実”に気が付いたからです。

“不都合な真実”とは、、、『特別掛金』に注目！現基金では2.2%の特別掛金を向こう約6年間は負担するものを、新制度では特別掛金率は1.8%に下がりますが、負担期間は13年11ヶ月に伸びます。その結果、特別掛金の負担総額は現行の68万円/人から新制度では120万円/人にほぼ倍増します。これが何を意味するのでしょうか???

「よくわからないままに追従して、無駄な掛金負担に苦しむ」という、これまでの厚生年金基金と同じ轍を踏むことは避ける方が賢明ではないでしょうか。基金説明会ではいいことづくめだったがデメリットはないのか？本当にこれからの社員のためになるのか？こんな疑問を少しでもお持ちなら、本セミナーが必ずお役に立ちます。

しかしわが社はもう同意書を出してしまった、、、大丈夫です、今からでも遅くはありません。詳しくはセミナーでご説明します。同意してしまった事業所様にも、同意していない事業所様にも、必ずお役に立つことをお約束します。

【過去のセミナー参加者の声】

● 基金からは情報が少なく、難解な言葉で送られてくる文章を読み切るのは難しかった。(セミナーでの)説明は図解も多く分かりやすかった。もともと、あなた任せでいた分、基礎部分の理解力が自分に乏しいことも問題点であると思うが、そういう方は多いのではないかと思う。(総務部長)

● 以前、基金の方に説明に来ていただいた際に教えていただけなかったことが、本日伺うことができて大変ありがたかった。(人事総務部マネージャー)

● 分からないことが多かったのですが、新たな気づきを得られました。(管理部総務課長)

## ≡ ≪プロが解説≫ 総合型基金の3つの構造的問題とは

■ 後継制度“総合型基金”の3つの構造的問題とは；

① 制度開始から“特別掛金”があること、② 資産運用リスク、③ 加入員と受給者のバランス、、、

### ① “特別掛金”の負担

- “特別掛金”とは制度運営失敗によって生じた積立不足を穴埋めするための追加負担(運営が上手く行っていれば発生しない)。制度開始から特別掛金負担(120万円/人)があるということは、過去の失敗を持ち込んでいる。
- 会社負担といっても、その原資は今後の企業収益(=現役社員の稼ぐ利益)。つまり過去の運営失敗の穴埋めに将来収益を充当するもの。業界の相互扶助の精神で、受給権者(OB)の權益を保全するために必要、ということ。これは、代行返上(年金権利義務移転)では避けられない仕組み。結局、現役がOBを支えるという国の年金と同じ構図。

### ② 資産運用リスク

- 運用リスクを抑制できるように、予定利率を2.5%に下げたといっても、現在のマイナス金利環境下では2.5%利回りにはまず届かない。新制度でも運用利回り未達によって積立不足が拡大し、特別掛金負担が増加する危険性が大。

### ③ 加入員と受給者のバランス

- 現基金の加入員(約2万7千人)と受給者(2万4千人)の比率と、自社の現役社員&退職者の比率を比べてみる。現役社員が多くてOBの少ない会社にとっては後継制度加入は不利になる。

最後に総合型基金には『連帯債務』が伴うことを忘れてはならない。現基金と同様、倒産・廃業した企業の債務は他の事業所が負うことになる。

◆執筆者:菊地達治(きくちたつじ)プロフィール◆ オーヴァル・リスクマネジメント特別顧問。三菱商事(株)財務部門出身、連合型厚生年金基金の事務長として基金解散を実施。厚生年金基金の専門家として、AIJ投資顧問事件後に設置された自民党厚労部会PTでの講師等も歴任。厚年基金見直し改正法の背景・内容にも、施行前から精通していた専門家。



セミナーお申し込みは裏面をご覧ください。

# OVAL NEWS LETTER

※ 年金基金とは全く利害関係のない第三者機関によるセミナーです ※

## オーヴァル経営ゼミナール【厚生年金基金対策】 “東京都電設工業基金”加入企業の最適選択肢は ～『代行返上』 & 後継制度の問題点と他選択肢～

御社の  
 収益と社員を  
 守るために

そもそも国の年金は大丈夫なのか、基金制度のことは分かりにくい、難しい専門用語で理解しにくい、... という不安・疑問が多いのですが、オーヴァル経営セミナーでは『100%』ご理解頂けることをお約束します。

これまで上場企業を中心に200社以上の基金問題解決を実現し、また20を超える厚年基金の解散早期化も支援してきた経験を踏まえての基金問題解決のノウハウをご提供します。本セミナーの内容を一部紹介すると、

- (1)そもそも企業年金とは？ (2)改正法の内容と狙いとは？ (3)加速する基金解散、他基金の実例は？  
 (4)『代行返上』 = 全事業所で後継制度移行 (5)その他の選択肢はないのか？  
 (6)後継制度が抱える3つの問題 (7)自社OBの処遇はどうするのか (8)会社も社員も安心して働ける制度とは

今回は参加特典として①おすすめ書籍無料進呈、②個別無料相談(後日)をご提供します。

なお、今回は1回に5社(10名)限定で先着順受付となりますのでお早めにお申し込みください。

オーヴァル・リスクマネジメント・サービスズ

日本支社代表 宮原英臣

追伸：100%全額返金保証します。セミナー内容には絶対の自信を持っておりますが、万が一ご満足いただけなければ、参加費を全額返金します。ご遠慮なく会場スタッフにお申し付け下さい。

場 所	新宿区新宿3-32-10 T&Tビル (都営新宿線・新宿三丁目駅 徒歩1分、JR新宿駅南口 徒歩3分)
参加費	1社(2名)・5,000円(消費税込み) * 下の書籍を進呈致します。(1社に1冊)

**参加申込書** 下記にご記入の上、フリーダイヤルFAXでお申込みください。受付後、詳細ご案内します。

開催日時	ご希望の参加日時に✓してください。 <input type="checkbox"/> 第1回1月26日(木) 13:00~15:00 <input type="checkbox"/> 第2回1月26日(木) 15:00~17:00 <input type="checkbox"/> 第3回1月30日(月) 13:00~15:00 <input type="checkbox"/> 第4回1月30日(月) 15:00~17:00 <input type="checkbox"/> 参加できないがセミナー資料を希望		
貴社名	ご住所 〒		
TEL / FAX / E-mail	Tel;	Fax;	E-MAIL @
ご氏名 (部署・お役職)	( )		
ご氏名 (部署・お役職)	( )		

### おすすめ書籍

「厚生年金基金の解散手続と退職金制度の見直し」を日本法令社から昨年8月に出版しました。

基金解散が相次ぐ中で、厚生年金基金と自社の退職金制度をどう位置づけるのか、解散後の従業員福利厚生制度をどう考えるのか、等々を実務面からも分かりやすく解説しています。



### 講師プロフィール

【講師略歴】 宮原英臣 (みやはらひでおみ)  
 オーヴァル・リスクマネジメント・サービスズ 日本支社代表  
 1954年福岡県生まれ 1977年京都大学(経済学部)卒、  
 三菱商事(株)、ソニー生命保険(株)を経て、2003年から現職。  
 リスクマネジメント観点からの人事労務関連分野を主軸とする経営コンサルタント。厚生年金基金問題の第一人者として、メディア講演・寄稿をはじめ、自民党や民主党での内部勉強会講師も務める。著書に「年金倒産」(プレジデント社)、「厚生年金基金解散手続&退職金制度見直し」(日本法令社)。



申込書送付先FAX番号 (フリーダイヤル・24時間受付)

**0120-086-504**